主催：内閣府　共催：徳島県、徳島市、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町

避難生活支援
リーダー／サポーター研修
「災害関連死・ゼロ」を目指して

参加 無料 定員あり

近年、災害の多発や避難生活の長期化による**災害関連死**の増加がますます懸念されています。
災害関連死を防ぐためには、地域社会の多様な人々が連携し、互いに支え合うことが不可欠です。
本研修では、災害時の避難生活の環境向上に貢献できる地域の人材**「避難生活支援リーダー／サポーター」**としてご活躍いただくことを目指し、演習・グループワークを中心に、**避難生活の環境改善のための実践的な知識・ノウハウ**を学びます。

研修（避難所運営演習）

実践に役立つ

どなたでも参加可能

※中学生以下の方は保護者の同伴が必要です

日　時
1日目：**令和8年10月24日（土）** 10:00～16:00
2日目：**令和8年10月25日（日）** 10:00～16:00

会　場
上板町立上板中学校　体育館
（上板町神宅字西金屋44）駐車場あり

持ち物　研修テキスト、昼食、飲み物、筆記用具、バインダー（クリップボード）、屋内用運動靴

プログラム

1日目	・多様な被災者の心情や状況の理解 ・避難生活の課題と生活環境の整備
2日目	・対人コミュニケーション ・避難所運営の担い手との連携・協働

▲研修の詳細内容については、研修紹介動画を御覧ください

この研修は、内閣府「避難生活支援・防災人材育成エコシステム」の構築に向けたモデル研修として実施するものです。

詳細は裏面へ

研修当日までに事前学習が必要です

研修テキスト

避難生活支援に必要な基礎知識や、過去の災害における課題と対応事例などをまとめたテキストをお送りします。事前にご一読ください。

オンデマンド動画

研修テキストの中でも、特に重要なポイントを解説した動画を、研修前にご視聴いただきます。
（1コマあたり約10～15分×５コマ）

お申し込み後、研修テキストとオンデマンド動画の情報をお送りします。

研修講師（予定）

頼政 良太 氏

被災地NGO協働センター代表/大手前大学現代社会学部講師

大学入学と同時に学生ボランティアサークル「神戸大学学生震災救援隊」に参加。能登半島地震(平成19年)被災地での足湯ボランティアを皮切りに、夜回りによるホームレス支援、フリースクールサポートといった様々な活動や、数々の国内の災害救援活動に従事。被災地NGO協働センターのアルバイトスタッフから正社員を経て、平成27年、同NGO代表に就任。現在は、大手前大学現代社会学部で災害時のボランティア活動や災害復興について研究している。

中野 未歩 氏

四万十町役場

宮城県石巻市出身。高校2年生の時に東日本大震災を仙台市内で経験。大学院時代の研究対象地域であった高知県四万十町へ移住し、令和元年に同町役場入庁。危機管理課在職時には地域住民とワークショップを通じた避難所運営マニュアル策定や開設訓練、高齢者支援課在職時には沿岸部の避難行動要支援者の個別避難訓練業務に携わる。災害への備えは想像力が重要だと考え、災害ボランティア活動への参加経験から、四万十町の南海トラフ地震対策・備えの充実についても検討している。

久野 貴裕 氏

高知県DWAT（災害派遣福祉チーム）チーム員/高知福祉専門学校　社会福祉学科学科長/高知県社会福祉士会　会長

東日本大震災後の在宅被災者への支援について、当時従事していたケアマネジャーの視点から高知県立大学大学院で調査研究。今後起こり得る南海トラフ地震を見据え、高知県DWATの創設時から災害時の福祉支援体制づくりに携わり、高知県社会福祉士会に災害支援委員会を立ち上げるなど、地域の災害支援体制の構築に取り組んできた。令和8年熊本地震では、発災2週間後にDWATとして現地に派遣され、被災地での支援活動にも従事している。

問合せ・参加申し込み　　申込締切：9月24日(木)

松茂町 危機管理課
担　当：内八重・山口
電　話：088-699-8725
メール：kikikanri@matsushige.i-tokushima.jp

研修に関するお問い合わせ先

内閣府業務受託事業者　避難生活支援リーダー／サポーター研修事務局
株式会社ダイナックス都市環境研究所（担当：江沢、小池、鈴木）
TEL：03-5402-5355　MAIL: leader-supporter@dynax-eco.com